

ごみ減量啓発活動 開催報告

整理番号: 20230811

イベント名	紙容器リサイクル事業からごみ減量を考える
-------	----------------------

実施内容	
活動日時	2023年8月11日(金・祝)9:00~13:00
活動場所	浜名湖ガーデンパーク 体験館
活動者名	藤田、外村
詳細	ごみ減量を自分ごととして考える環境行動(3R)リサイクル活動を紹介

事業の様子と 成果	<p>配布物: 紙容器リサイクル事業用紙袋・チラシ 5 組、びんリサイクルシール3枚 スッキリ・エコ自慢冊子、浜松市SDGs下敷き 体験: 紙容器重さ当てクイズ 3組</p> <p><参加者の声></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーグルトなどの紙容器は、雑がみとして出していた。→古紙回収の正しい出し方を説明した。 ・近くに回収拠点があれば協力はしたいが、東区からわざわざ持っていくことには抵抗がある。スーパーなどで回収してくれるようになれば参加したい。(東区ご夫婦) ・回収拠点を整えることが大事だと思う。市民の利便性を考慮することが必要。(行政回収など) ・紙容器は、もえるごみに出している。 ・住んでいる地域でも、回収ができるようになるとういと思う。(市外) ・紙容器を持参してくれた方から、きれいに洗浄する方法の質問がありました。(回答)水にしばらくつけておくときれいに取れる。 ・リサイクル出来ると初めて知った。 ・紙容器は、かさばるので中にもえるごみを詰め込んで出している。 ・自治会のごみ回収時に併せて回収する方法があるのではないかな？ <p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場の参加者数は少なかった。我々の説明には、興味を持って耳を傾けてくれた。 <p>紙容器の回収をしてしていることを知らない人が多かったが、趣旨を伝えると協力を希望する人もいた。事業の目的を知ってもらうことで、リサイクルの輪は広がっていくと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出来ない理由が回収拠点の少なさである。市民の行動変容が起これば事業は拡大する。今後の広報活動が重要であることが分かった。
--------------	--

記録添付

